

2019年4月26日

「イクボス企業同盟」への加盟について

株式会社日本アクセス(所在地:東京都品川区、代表取締役:佐々木淳一、以下「当社」)は、食品卸として初めて、特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン(所在地:東京都千代田区、代表者:安藤哲也)が運営する「イクボス企業同盟※」に加盟いたしました。



当社は第7次中期経営計画期間(2018年～2020年)を「New ACCESS Way2020～進化・創造～」のスローガンのもと、人財・風土改革を重点テーマにおき、ダイバーシティをキーワードに働き方改革に取り組んでいますが、この度の加盟に先駆け、ダイバーシティ宣言を掲げました。

◆ 日本アクセスのダイバーシティ宣言

心に届く、ダイバーシティ宣言

- ✓ 働きがいを高めるために
社員自ら働き方改革を推進することで生産性を高め、
ワーク・ライフ・バランスを実現し長く活躍できる働きやすい環境を整えます。
- ✓ 個々の力を結集するために
多様性を認め合い、「お互い様」の気持ちでつながりを大切にし、
一人ひとりの強みを存分に発揮できる職場をつくります。

上記宣言のもと、当社では管理職をイクボスに育成し、ダイバーシティ&インクルージョン、そして、働き方改革を推進してまいります。

※「イクボス企業同盟」とは、女性活躍推進やイクメンなど社員が多様化する時代において、「イクボス」の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を行って、新しい時代の理想の上司(イクボス)を育てていこうとする企業のネットワークのこと。「イクボス」とは、職場で共に働く部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)を指す。

以上